



愛隣幼稚園・・・・・・・・・・・・・・・・

# 園だより

・・・・・・・・・・・・・・・・ 10.6月号

## 春咲きのひまわり

愛隣幼稚園の駐輪場に面した植え込みに、季節外れのひまわりが咲いています。くろーば一組の子どもたちがばら組の時、ひまわりの種を蒔きました。ちょうど1年前のことです。去年の夏はこの植え込みにたくさんのひまわりの花が咲きました。たくさんの種もできました。秋になって枯れたひまわりは抜かれることになりましたが、気がつくところぼれた種からいくつかの芽が出ていました。<芽、出したんだ・・・でも、もうすぐ冬だぞ。きっと冬本番になれば枯れてしまう。>そう思っていました。ところが、元気なのです。もちろん気温は低いので、すすく伸びてはいきません。マイペースです。じわあっ（文字にするのは難しい）、じわあっと大きくなっていきました。それでもいくつか出た小さな芽は自然淘汰されていきました。2月頃には2本だけが残りました。この冬は雪も降りました。少しですがこの小さなひまわりにも積りました。さすがにもう枯れてしまう・・・残念だけど。やはり2本のうちやや華奢なほうは、数日の間に枯れていきました。ところが、もう1本はこの雪にも耐えたのです。すごいなあ・・・なかばあきれてしまうほどの遅さです。そんなことってあるんだ。命の不思議さと力強さに圧倒されながら、あとはもう無事に花が咲きますようにと、毎日声をかけていました。（ごめんなさい。声をかける以外は何もしてあげなくて）その後も天候不順は続き、雨の多い寒い4月でした。にもかかわらず季節外れのひまわりは成長を続けました。ゴールデンウィーク前、とうとう蕾をつけました。5月に入り、好天に恵まれました。堅い緑の蕾はどんどん大きくなり黄緑色に変わっていきます。そしてついに、黄色い花を咲かせました。私とその姿を見たのは5月10日、休み明け月曜日の朝でした。夏の花はまだどこにも咲いていないこの時期に、季節外れのひまわりは誇らしげに咲いていました。<なんだかいい！><あなたらしくてすごいいい！>私は、そんなことを考えてひとりにやにや。その姿を写真におさめました。・・・いつ咲いてもいいのです。違っていいのです。あなたらしくて素敵です・・・

こんなことがあるんだなあ、と小さな命の不思議と力強さ、これを守り育む大いなる業を思います。見過ごしてしまいそうな小さな命の営みは、実はそこにもここにも溢れています。子どもたちはこの小さな命に一番近い人たちです。歩きながら、立ち止まっては、見上げてはこの小さい命に気付き共感しています。「早く早く」と急かさずに、子どもたちの視線の先にあるものを共に追いかけて見ましょう。小さな命に思いをよせ、心を動かす経験はかけがえのない経験です。「命は大切」なーんてことお題目のように唱えて聞かせるよりも、感じるものを分かち合いたいと思います。もちろん子どもからだけでなく、大人が感じたものも伝えます。お題目でなく、感じ合いながら「命は大切」ということを伝えたいと思います。

